

非常持出袋

防災についての調査

株式会社 マーケティング・コミュニケーションズ

45ℓ (ゴミ袋)

調査概要

調査内容

防災についての調査

- ①防災対策の内容 ②対策する災害の種類の経年比較
- ③対策が不十分と感じている人の、不足していると思う対策
- ④防災対策をしていない理由

調査地域

全国

調査対象者

弊社管理オピネット会員 オピネット：<http://www.opi-net.com>

サンプル数

921人

調査方法

インターネット調査

実施時期

2025年9月3日（水）～9月24日（金）

調査機関

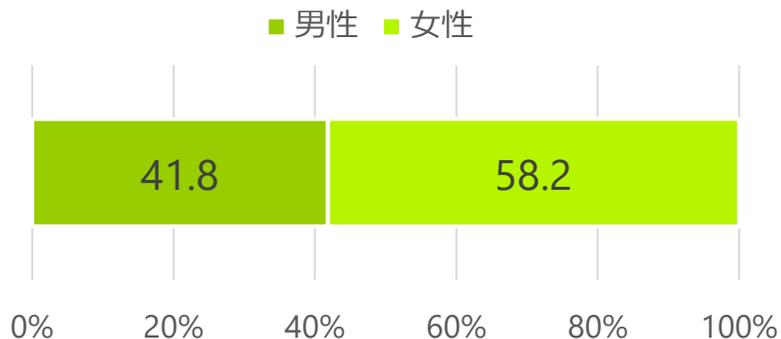
株式会社マーケティング・コミュニケーションズ

調査項目

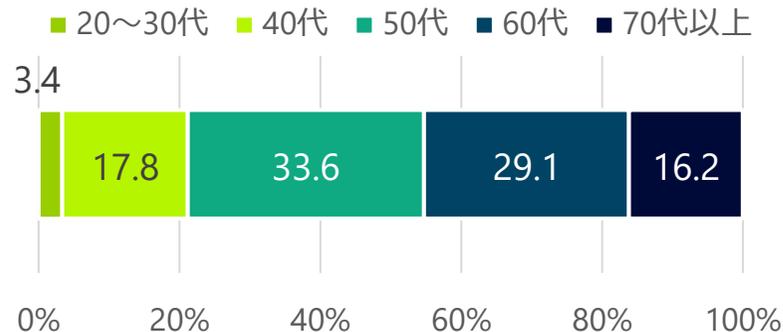
1. 防災対策として飲料・食料品を準備していますか
2. 防災対策として準備している飲料・食料品は具体的に何ですか。
3. 飲料・食料品は何日分を準備していますか。
4. 防災対策として防災グッズ（飲料・食料品以外の備蓄品・災害用持ち出し袋）を準備していますか。
5. 準備している防災グッズは何ですか。
6. 準備している飲料・食料品、防災グッズ（飲料・食料品以外の備蓄品・災害用持ち出し袋）はどこに保管していますか。
7. 住居・家の中の防災対策として何を行っていますか。
8. 転倒防止対策をしている家具・家電は何ですか。
9. 発災時・避難時の行動に関する防災対策として何を行っていますか。
10. 防災対策にあたり想定している自然災害は何ですか。
11. 現時点でのあなたの防災対策は理想の状態に対してどのくらい十分だと思いますか。
12. 防災対策で何が出来ていない（これから対策したい）と思っていますか。
13. 防災対策をしていない理由を教えてください。
14. 防災対策において工夫している事や困っている事などがありましたらご自由にお書きください。

回答者属性

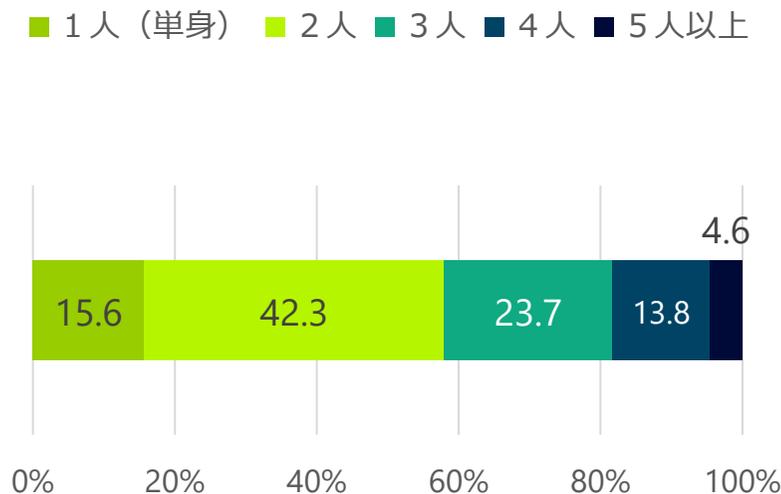
◆性別



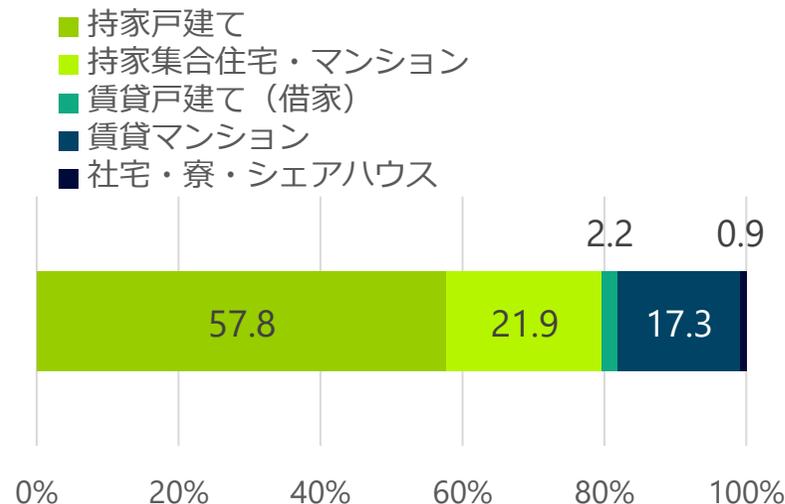
◆年代



◆同居家族人数



◆住居形態



調査結果TOPIC

1. 防災対策の内容

- 対策を何もしていない人は20.5%。約8割の人が何らかの対策をしている。
- 準備している飲料・食料品の種類は「水」が最も多い93.6%。
- 備蓄品・災害用持ち出し袋の種類は「照明器具」が最も多い67.8%。「衛生用品」「軍手・手袋」「ラジオ」が続く。
- 飲料・食料品の保管場所は「キッチン」が40.0%で最も割合が大きい。2番目は「玄関」、3番目は「リビング」。
- 住居・家の中の防災対策をしていない人は53.0%。半数以上の人対策をしていない。
- 発災時・避難時の行動に関する対策を見ると、「避難場所を確認する」が最も割合が大きく46.8%。

2. 対策する災害の種類

- 何らかの防災対策をしている人が想定している災害は「地震」が9割超で最も割合が大きい。

3. 対策が不十分と感じている人の、不足していると思う対策

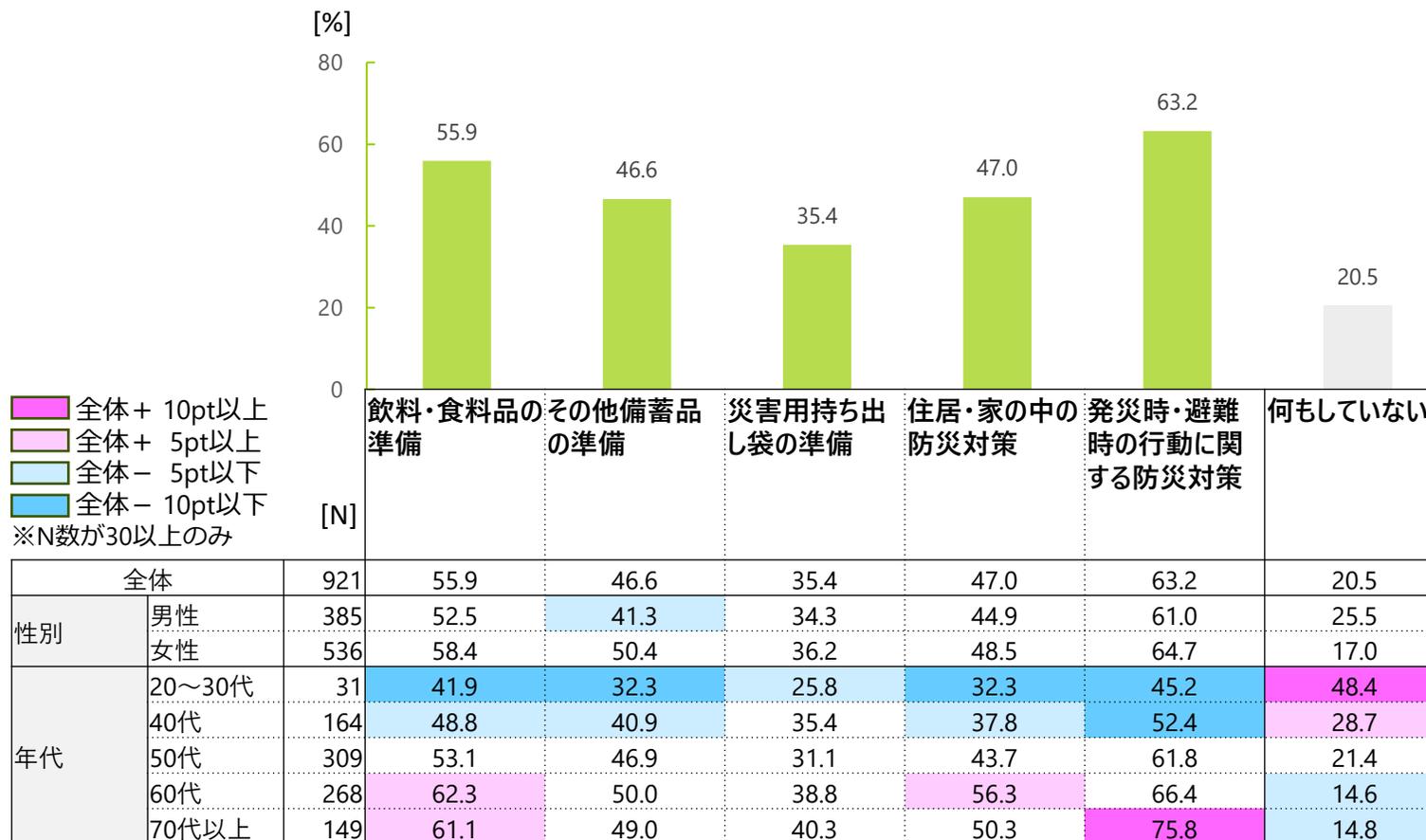
- 不足していると感じている対策は「飲料・食料・防災グッズの量の不足」が最も割合が大きく58.5%。

4. 防災対策をしていない理由

- 対策を何もしていない人の理由を見ると「面倒である」が43.4%で最も割合が大きい。

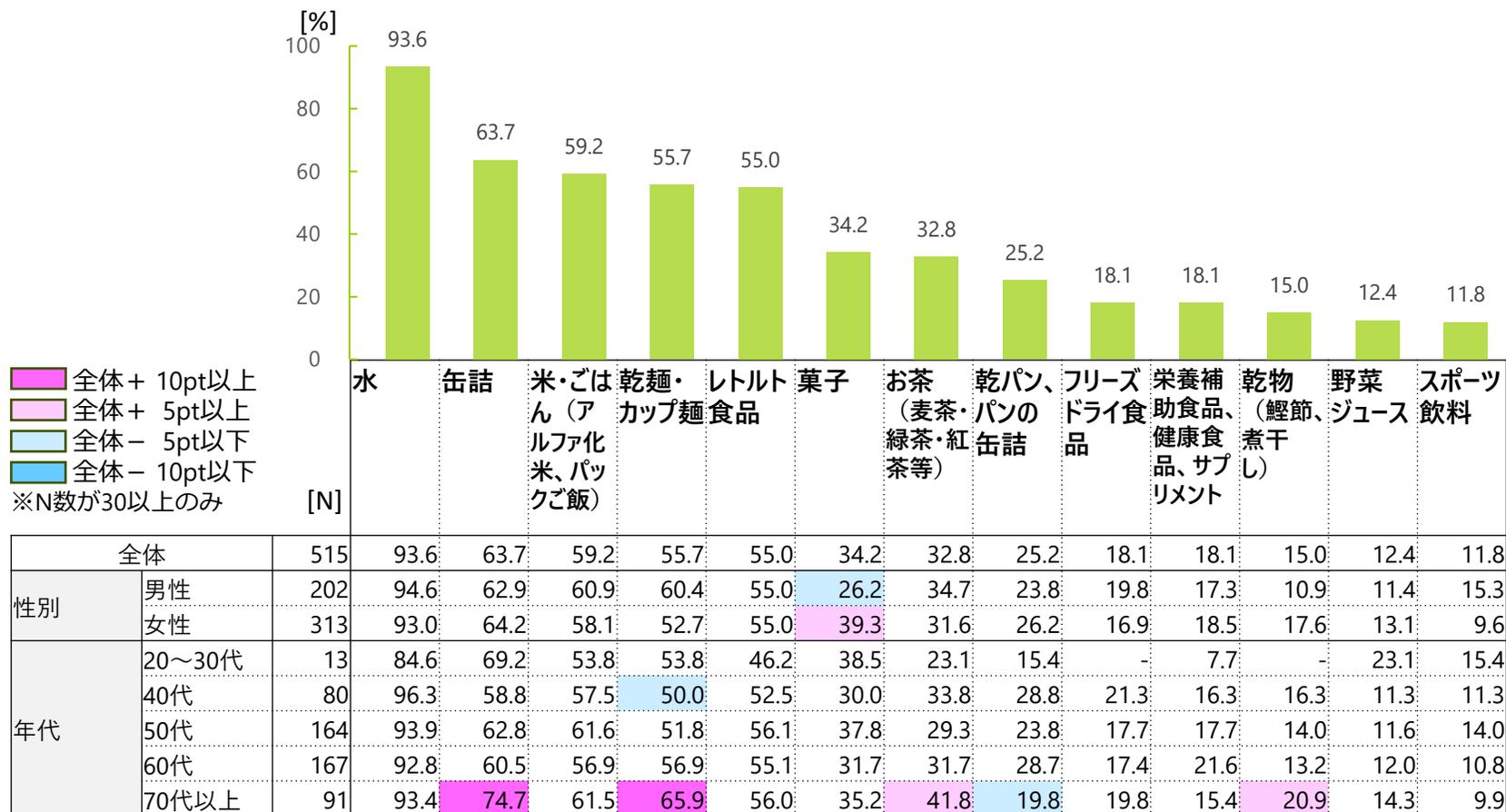
防災対策は何をしているか

- 対策を何もしていない人は20.5%。約8割の人が何らかの対策をしている。
- 男性は「その他備蓄品の準備」が全体-5ptで、女性と比較して準備している人の割合が小さい。
- 年代が上がるほど対策をしている人の割合が大きい。特に70代以上の「発災時・避難時の行動に関する防災対策」は全体+10pt以上。



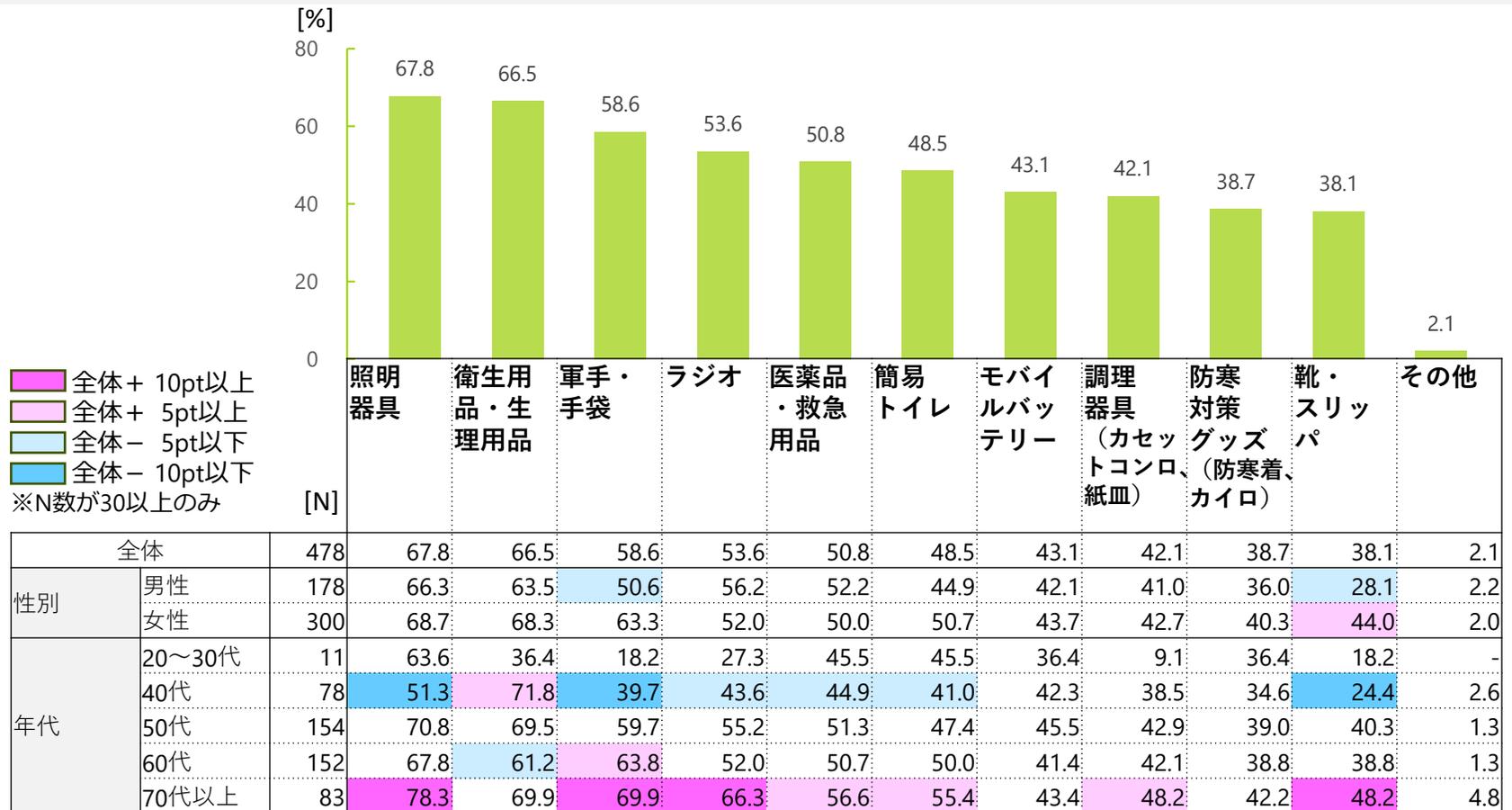
飲料・食料品の種類

- 準備している飲料・食料品の種類を見ると、「水」が最も多い93.6%。「缶詰」「米・ごはん」「乾麺・カップ麺」が続く。
- 女性は「菓子」が全体+5ptで、男性と比較して準備している人の割合が大きい。
- 70代以上は「缶詰」「乾麺・カップ麺」が全体+10pt以上。



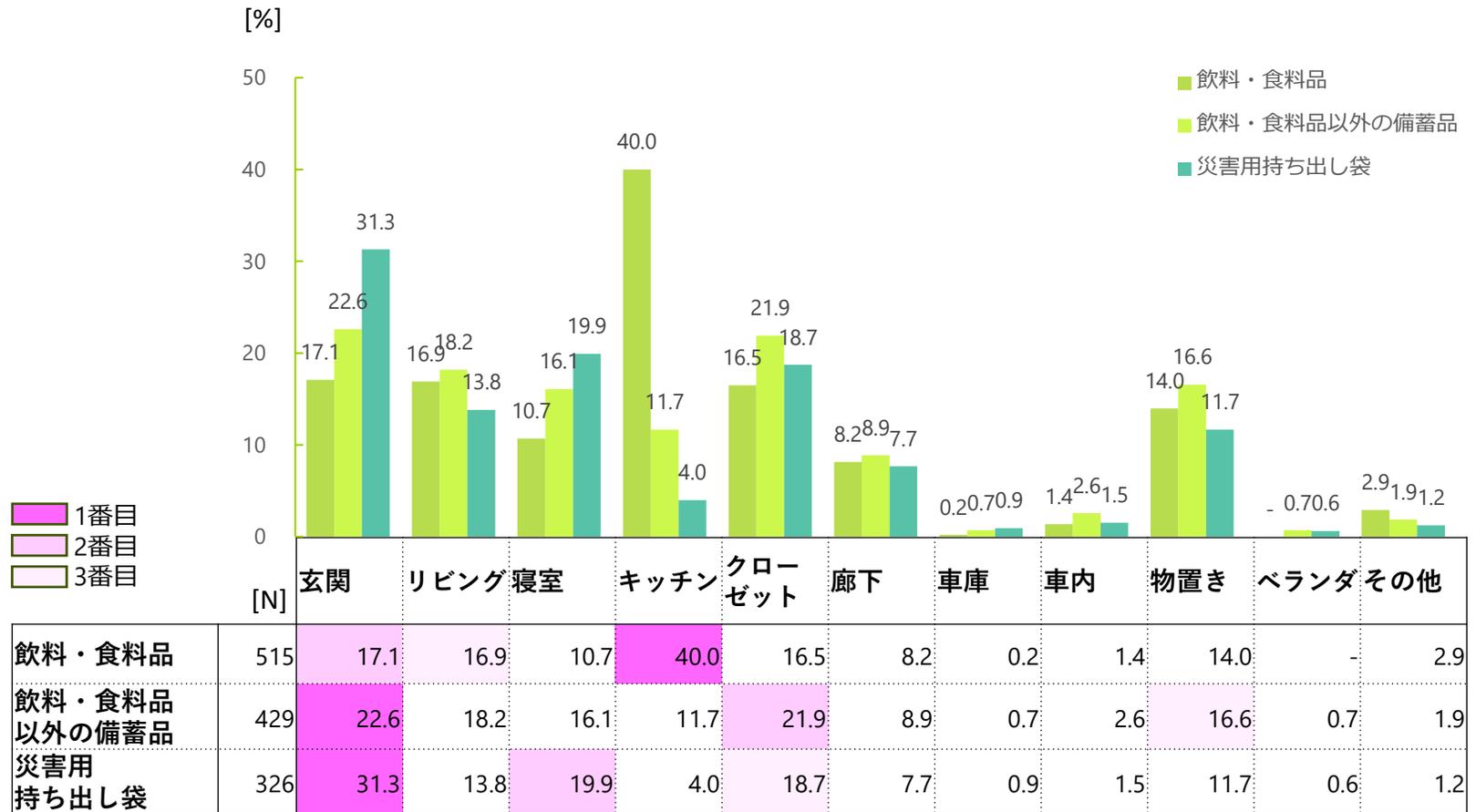
備蓄品、災害用持ち出し袋の中身の種類

- 備蓄品・災害用持ち出し袋の種類を見ると、「照明器具」が最も多い67.8%。「衛生用品」「軍手・手袋」「ラジオ」が続く。
- 女性は「靴・スリッパ」が全体-5ptで、男性と比較して準備している人の割合が大きい。
- 70代以上は「照明器具」「軍手・手袋」「ラジオ」「靴・スリッパ」が全体+10pt以上。1人当たり準備している種類が多いと考えられる。



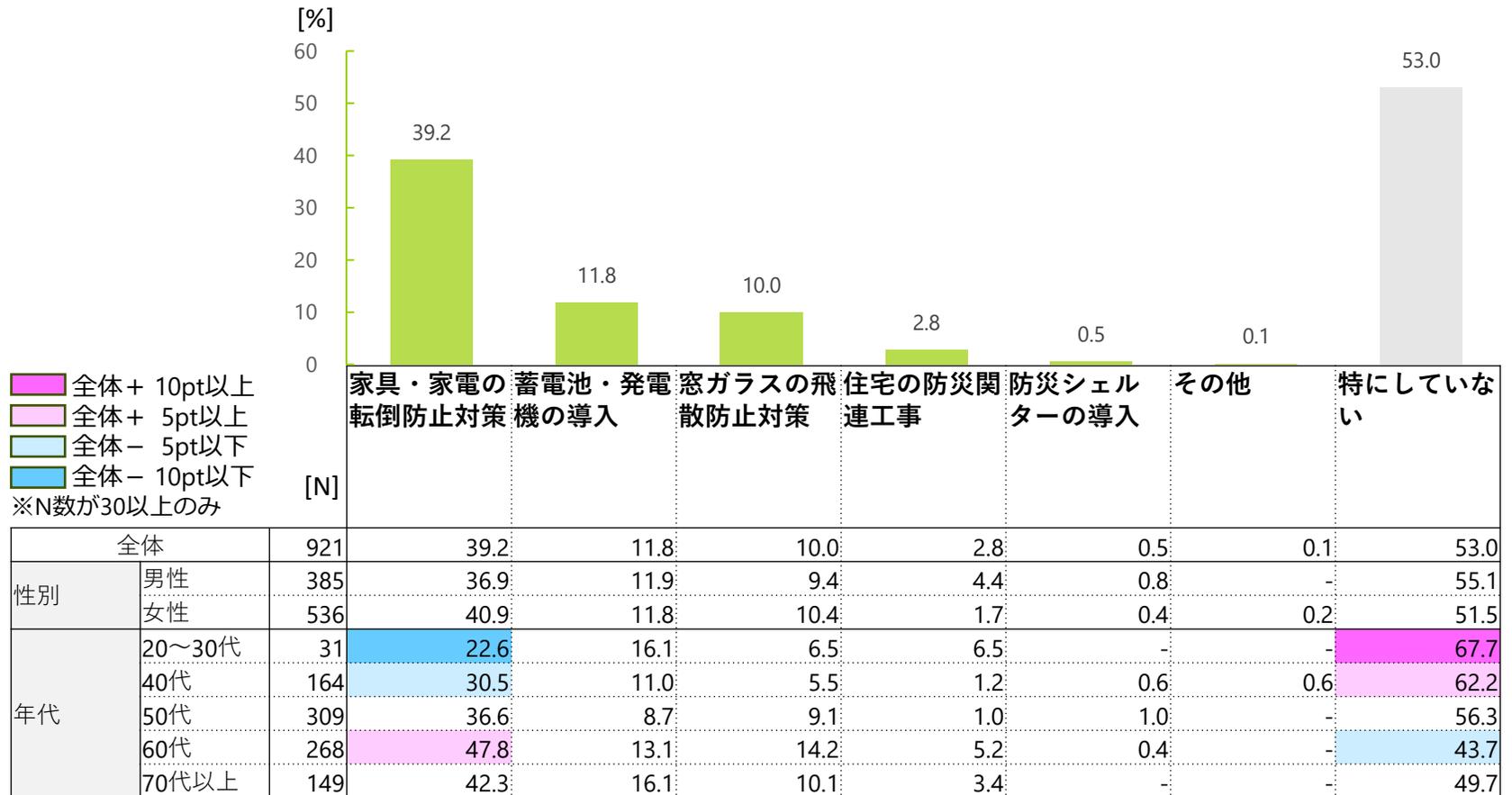
飲料・食料品、備蓄品、災害用持ち出し袋の保管場所

- 飲料・食料品の保管場所は「キッチン」が40.0%で最も割合が大きい。2番目は「玄関」、3番目は「リビング」。
- 備蓄品は「玄関」が22.6%で最も割合が大きく、2番目は「クローゼット」、3番目は「物置き」。
- 災害用持ち出し袋は「玄関」が31.3%で最も大きく、2番目は「寝室」、3番目は「クローゼット」。



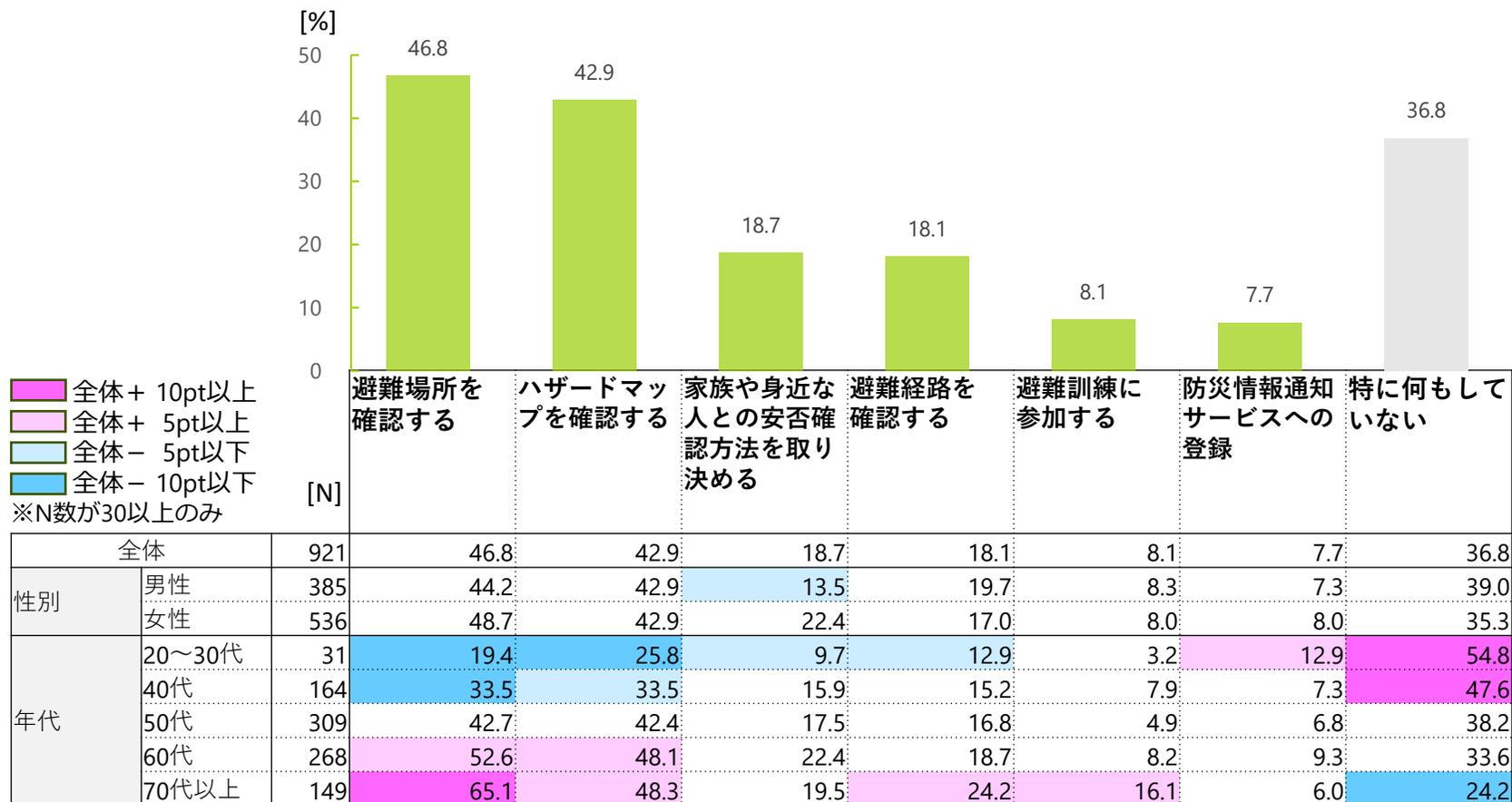
住居・家の中の防災対策

- 住居・家の中の防災対策をしていない人は53.0%。半数以上の方が対策をしていない。
- 40代以下は特に対策をしていない人の割合が大きい。
- 60代は「家具・家電の転倒防止対策」が全体+5pt。



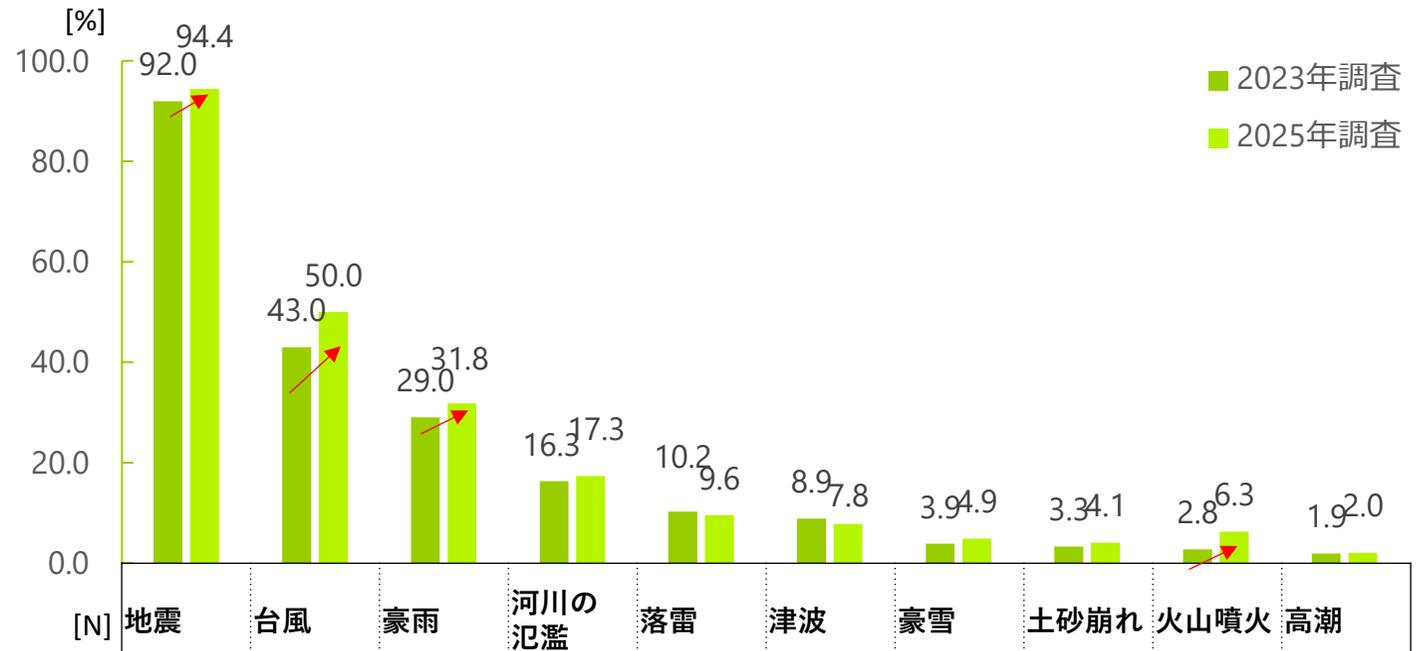
発災時・避難時の行動に関する防災対策

- 発災時・避難時の行動に関する対策を見ると、「避難場所を確認する」が最も割合が大きく46.8%。
- 40代以下は特に対策をしていない人の割合が大きく全体+10pt以上。
- 60代と70代以上は「避難場所を確認する」「ハザードマップを確認する」が全体+5pt以上。



防災対策で想定している災害（2023年調査との比較）

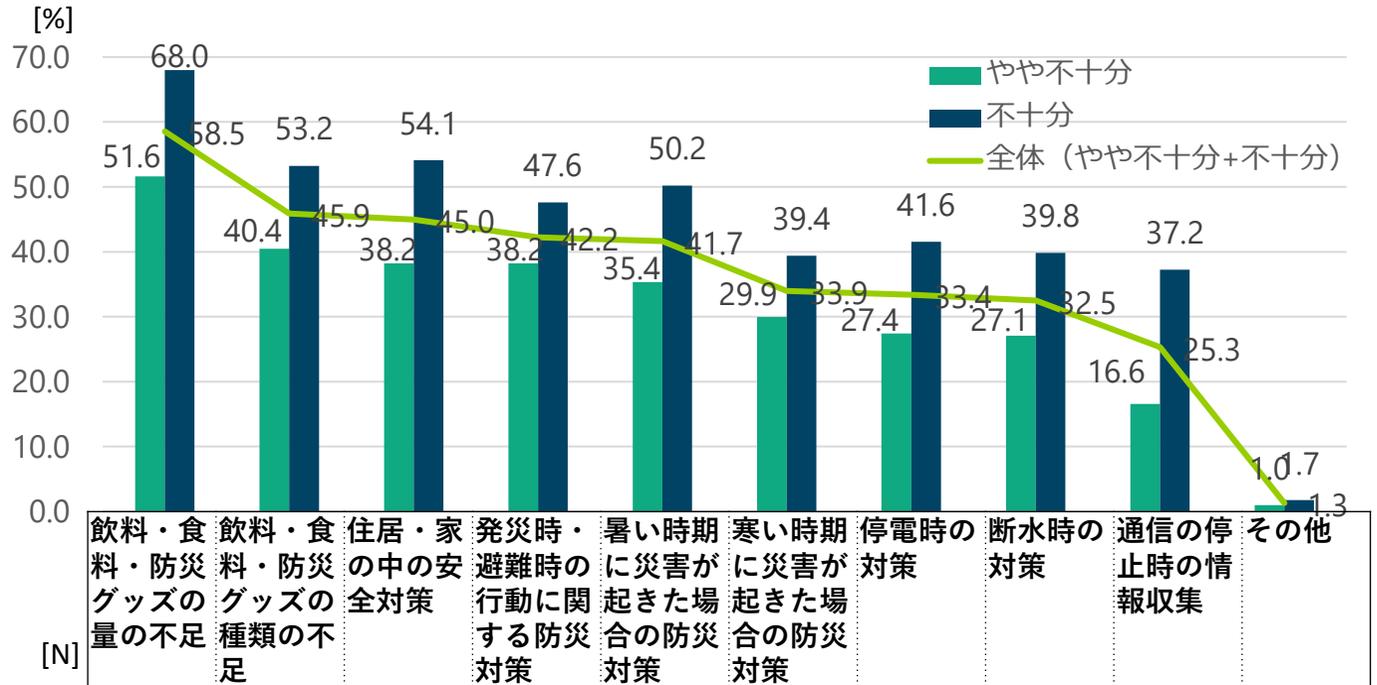
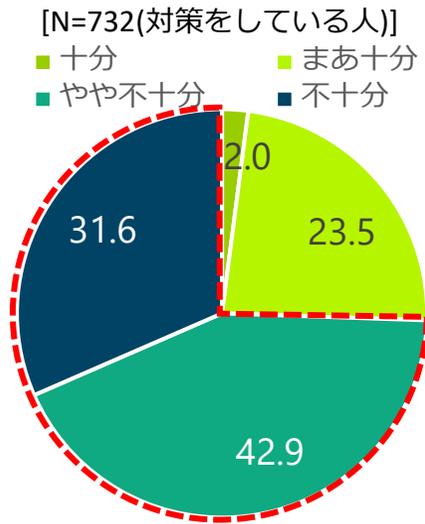
- 何らかの防災対策をしている人が想定している災害を見ると、2023年調査・2025年調査ともに「地震」が9割超で最も割合が大きい。
- 2023年調査と2025年調査を比較すると「地震」「台風」「豪雨」「火山噴火」などは想定している人の割合が増えており、「台風」は特に増加割合が大きく7pt増。



	[N]	地震	台風	豪雨	河川の氾濫	落雷	津波	豪雪	土砂崩れ	火山噴火	高潮
2023年調査	723	92.0	43.0	29.0	16.3	10.2	8.9	3.9	3.3	2.8	1.9
2025年調査	732	94.4	50.0	31.8	17.3	9.6	7.8	4.9	4.1	6.3	2.0

不十分と感じている防災対策

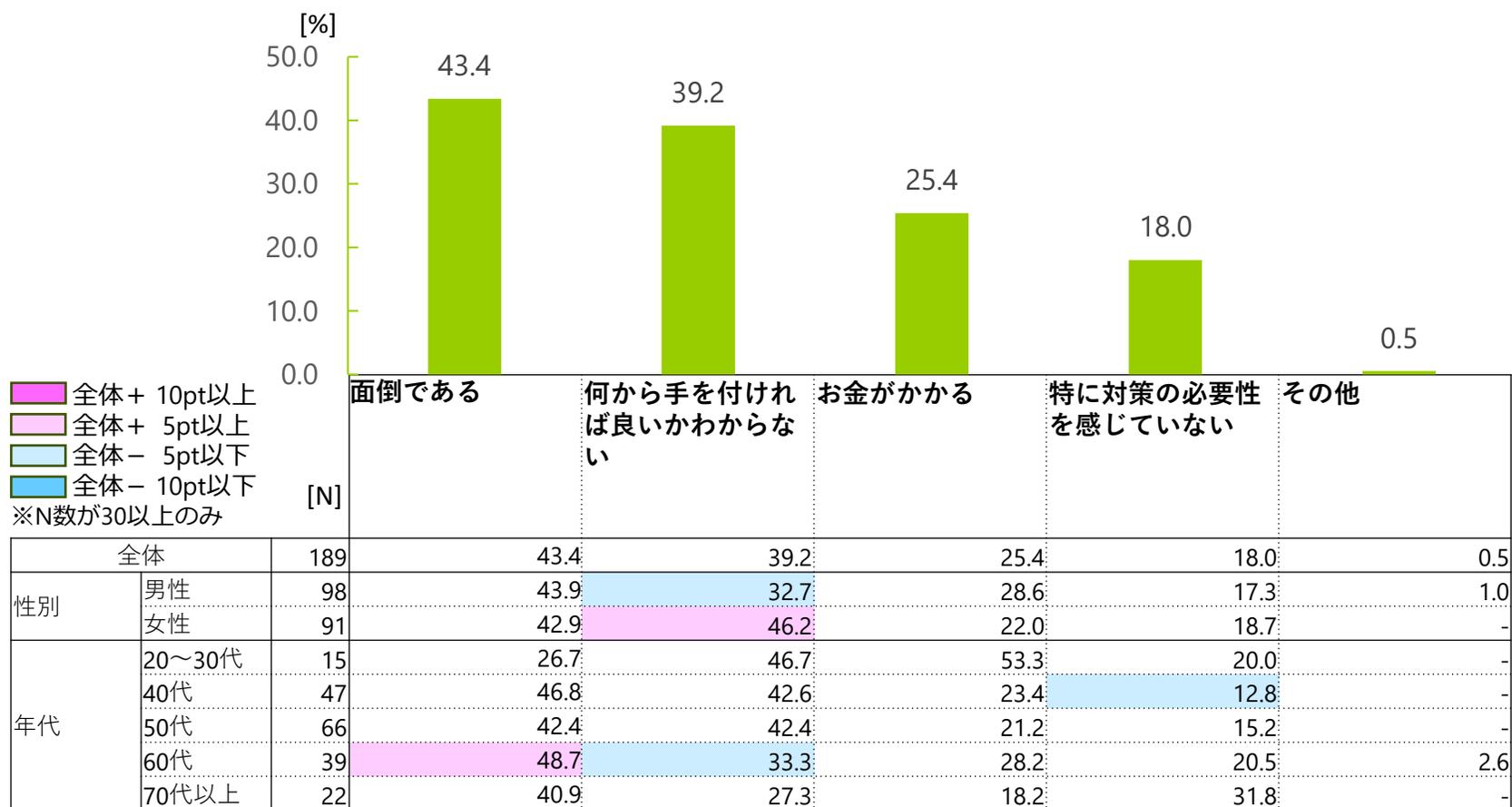
- 何らかの防災対策をしている人に、理想の状態に対してどのくらい十分か聞くと「やや不十分」「不十分」と回答する人の割合が7割超。
- 不十分と感じている対策は「飲料・食料・防災グッズの量の不足」が58.5%。次に「飲料・食料・防災グッズの種類不足」。



	[N]	飲料・食料・防災グッズの量の不足	飲料・食料・防災グッズの種類不足	住居・家の中の安全対策	発災時・避難時の行動に関する防災対策	暑い時期に災害が起きた場合の防災対策	寒い時期に災害が起きた場合の防災対策	停電時の対策	断水時の対策	通信の停止時の情報収集	その他
全体	545	58.5	45.9	45.0	42.2	41.7	33.9	33.4	32.5	25.3	1.3
やや不十分	314	51.6	40.4	38.2	38.2	35.4	29.9	27.4	27.1	16.6	1.0
不十分	231	68.0	53.2	54.1	47.6	50.2	39.4	41.6	39.8	37.2	1.7

防災対策をしていない理由

- 対策を何もしていない人の理由を見ると「面倒である」が43.4%で最も割合が大きい。2番目は「何から手を付ければ良いかわからない」。
- 女性は「何から手を付ければ良いかわからない」が全体+5ptで、男性と比較して割合が大きい。
- 60代は「面倒である」が全体+5pt以上。「何から手を付ければ良いかわからない」が全体-5pt以下。



防災対策において工夫している事

ローリングストック

実際おきてみないとわからないため、最小限の防災グッズしか用意していないが、食品系は賞味期限間近になったら食べて交換している。
(50代・女性)

食品のローリングストックをしています
(70代以上・女性)

定期的なチェック・入替

食品はこまめに期日をチェックしています。
(50代・男性)

点検日を決めて、賞味期限はチェックしています。
(50代・女性)

夏と冬では必要な物も違ってくると思うので、定期的に入れ替えも
行っている。
(50代・女性)

避難経路の確保

不便だけど食器等が入る棚の扉は開かないように固定しています。
(50代・男性)

家の中での避難経路には物を置かないようにしています。
(60代・女性)

住宅の強化

耐震、耐火の建物への建て替え中。
(60代・男性)

家を頑丈に作ったので、近隣火災などよっぽどの事がなければ
自宅避難をするつもり。
(60代・女性)

断水対策

普段からお米は無洗米にするなど突然災害が起きても使いやすい物を
蓄えておく。
(20～30代・女性)

水道と井戸を使っているので断水した場合は井戸を使うようにする。
(40代・女性)

アウトドア用の携帯浄水器は確保している。
(60代・男性)

防災対策において困っている事

賞味期限の管理

数日分の食べ物は十分であるが、期限があるので、買い替えることが面倒である。(40代・男性)

賞味期限等をデジタル管理しストックコントロールしたいが適当なアプリが見当たらない。(60代・男性)

食品もいろいろ準備したいと思っても期限で入れ替える時に消費するのが大変で物足りない準備になってしまいがち。(60代・女性)

備蓄品用のスペース確保

家族が多いので十分な食料を確保出来るスペースがない。(50代・女性)

賃貸マンションの部屋が狭いので、備蓄品や避難グッズなどを収納しておく場所がなくて困っている。(60代・女性)

買い置きの水は多い方がいいのだろうけど、置き場にも困る。(70代以上・女性)

停電対策・断水対策

マンションの高層に住んでいるので停電等で電気が止まると困る。(70代以上・女性)

山の上なので水も電気が止まると止まってしまうので困る。(50代・女性)

災害用持ち出し袋が重くなってしまう

持病があり治療道具一式が重いのでどこまで持って逃げられるが不安。(40代・女性)

避難指定場所に移動する場合、防災グッズを親の分も自分が運ばなくてはならないため、重くて持ち切れるかどうか不安である。(60代・女性)

費用がかかる

エアコンにも使えるソーラーバッテリーを買いたいが高額で躊躇してしまいます。(50代・男性)

家庭用蓄電池がほしいが東京都の補助金が戸建てしかないのが悲しい。(60代・女性)

高齢者・要介護者の避難

母が93歳で要介護認定3なので、外出するには車椅子必須。私も障害者手帳を持っているので、妻の負担を考えると大変難しいですね。(70代・男性)

火事リスク

モバイルバッテリーは衝撃で発火するという話を聞くと、どんなに対策していても火事のリスクが大きいと思ってしまう。災害時にリチウム電池の発火を防ぐ方法があればいいなと思っている。(20~30代・女性)

レポートのお問い合わせ

…禁無断掲載（情報の掲載・引用は下記にお問い合わせください）

編集・発行：株式会社マーケティング・コミュニケーションズ

〒102-0094

東京都千代田区紀尾井町3-23 文藝春秋新館

TEL:03-3222-4250 FAX:03-3222-4258

お問合せ先：<https://www.mcto.co.jp/contact>

【会社概要】

- 商号 株式会社マーケティング・コミュニケーションズ
- 創業 1958年（日本マーケティング研究所グループ 略称 J M R）
- 創立 1973年
- ホームページ 会社案内 <https://www.mcto.co.jp/>
生活者サイト <http://www.opi-net.com>
- 個人情報の取り扱いについて

株式会社マーケティング・コミュニケーションズはプライバシーマークを取得しています。

